

くるみ先生のわかりやすい英語（初級）－その1



Let's start !



be 動詞とは am, are, is (過去形は was, were)です。

聴覚障害をもつ高校生が間違えやすいものに、動詞があります。

まず be 動詞と、その他の動詞を区別することが最も重要です。

be 動詞は主語によっていろいろ変化します。

I am a high school student. (私は高校生です。)

You are a high school student. (あなたは高校生です。)

He is a high school student. (彼は高校生です。)

She isn't a high school student. (彼女は高校生ではありません。 isn't = is not)

They aren't high school students. (彼らは高校生ではありません。 aren't=are not)

We were high school students. (私たちは高校生だった。)

He wasn't a high school student. (彼は高校生ではなかった)

be 動詞と



その他の動詞？

be 動詞以外の動詞には以下のようなものがあります。どんな意味かわかりますか？

1. I like dogs.
2. He likes dogs.
3. I know this dog well.
4. She knows this dog well.
5. I have three dogs.
6. She has three dogs.

1. I like dogs. 2. He likes dogs.

日本語にすると・・・

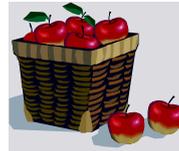
正解：1. 私は犬が好きです。2. 彼は犬が好きです。



Q：どうして likes なの？

A：あなたでもない、私でもない人で、単数だとSがつきます。三単現のSっていうんだよ。これは dogs のSとは違うんだよ。dogs のSは複数を表します。犬が好きと言う場合、一般的に犬という動物が好きなのだから、一匹だけではありません。だから複数にします。

リンゴが大好きです。ならば I like apples. となります。



りんごごごろ

3. I know this dog well. 4. She knows this dog well. はどんな意味でしょうか？・・・

正解：3. 私はこの犬をよく知っています。4. 彼女はこの犬をよく知っています。



私でもないあなたでもない人で単数だから knows だね！

5. I have three dogs. 6. She has three dogs. はどんな意味かな？

・・・

正解：5. 私は犬を三匹飼っています。6. 彼女は犬を三匹飼っています。



have は「持っている」という意味だけで、犬だから「飼う」のほうがよいでしょう。三単現のとき haves じゃなくて has となるんだよ。

さて be 動詞っていうのは・・・

基本的に **be 動詞の前と後が同じものを表しているのです。**

This is a dog. (これは犬です。)

this も a dog も同じもの、つまりここにいるこの犬を表しています。

This dog is Pochi. (この犬はポチです。)

This dog も Pochi もここにいるこの犬を表しています。

Pochi is my dog. (ぼちって私の犬よ。)

Pochi も my dog もここにいるこの犬を表しています。

My dog is Pochi. (私の犬はポチです。)

my dog も Pochi もある犬のことを表しています。

形容詞になっても・・・

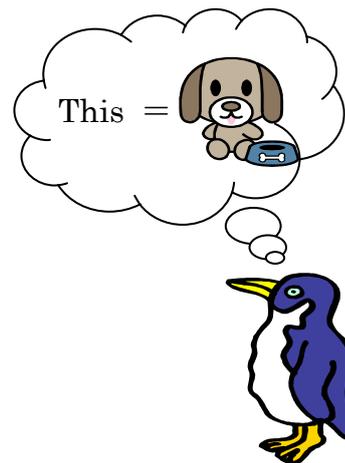
My dog is small. (私の犬は小さいです。)

My dog も small もある犬のことを表しています。

現在分詞になっても・・・

My dog is running. (私の犬が走っています。)

My dog も running もある犬のことを表しています。



Be 動詞ではない動詞と比べてみましょう。

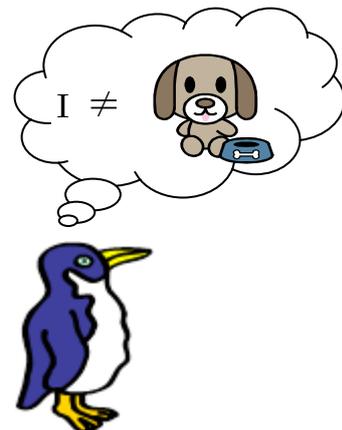
1. I like dogs. (私は犬が好きです。)

I と dogs は同じものを表していません。「私」は「犬」ではありませんよね。

2. He likes dogs. (彼は犬が好きだ。)

He と dogs は同じものではありませんよね。「彼」は「犬」ではありませんね。

6. She has three dogs. (彼女は犬を三匹飼っています。)



ここまでのまとめ



be 動詞は am, are, is (過去形は was, were)です。それ以外が一般動詞です。

とにかくこの区別を覚えてください。

be 動詞の特徴は〇〇は△△だ。ということで、ひっくりかえしてもあまり意味が変わらない。

つまり△△は〇〇だとも言えるのです。be 動詞は=イコールの役割を持っています。

SVC文型 (主語—述語—補語) と言います。S=Cの関係です。

下の例を見てください。

わかりやすい見比べ。

7. They are dogs. (彼らは犬だ。)

8. They like dogs. (彼らは犬が好きだ。)

9. They have dogs. (彼らは犬を飼っている。)



否定文にするとどうなりますか？

..... 正解は、、

7. They aren't dogs. (彼らは犬だ。) aren't = are not
8. They don't like dogs. (彼らは犬が好きだ。) don't like = do not like
9. They don't have dogs. (彼らは犬を飼っている。)

疑問文にするとどうなりますか？

..... 正解は、、

7. Are they dogs? (彼らは犬だ。)
8. Do they like dogs? (彼らは犬が好きだ。)
9. Do they have dogs? (彼らは犬を飼っている。)

Is this a dog? (これは犬ですか？)

Hello ♪



犬、じゃないよな...

答えて応えてみましょう。

正解は・・・

No, this isn't a dog. This is a raccoon dog.

犬ではありません。狸です。

I am raccoon dog.

たぬきは英語で
raccoon dog だよ。



Does he have a dog? (彼は犬を飼っていますか？)

否定で答えてみましょう。

正解は・・・

He doesn't have a dog. He has a raccoon dog.

(彼は犬は飼っていません。狸を飼っています。)



「彼は三年前は狸を飼っていませんでした。」英語でいうとどうなりますか？

正解は・・・

He didn't have a raccoon dog three years ago.



よくわかったかな？では、練習問題です。英作文をしてみましょう。

練習問題

以下の日本語を英語にしましょう。



1. A 「あなたは犬が好きですか。」
B 「いいえ、あまり好きではありません。猫が好きです。」
2. A 「これは犬ですか？」
B 「いいえ、犬ではありません。」
A 「じゃあ何ですか？」
B 「狸です。」
A 「犬に似てますね。」
B 「いいえ似てません。私は犬には詳しいんですよ。」（注：似ている=look like）
A 「私は動物のことはあまり知らないんです。」

正解は・・・

1. A: Do you like dogs?
B: No. I don't like dogs very much. I like cats.
2. A: Is this a dog?
B: No. this is not a dog.
A: What is this?
B: This is a raccoon dog.
A: It looks like a dog.
B: It doesn't look like a dog. I know dogs very well.
A: I don't know much about animals.

わかったかな？ではまたお会いしましょう。



オマケ

同じことを **be** 動詞の文と、普通の動詞の文で作ってみましょう。

He teaches English to me. (彼は私に英語を教える。)

He is my English teacher. (彼は私の英語の先生です。)

わかったかな？

じゃ、またね！

